

事業所防災リーダー通信 2023 Vol.20

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



大雨から身を守るために

突発的に発生する局地的大雨は、近年増加傾向にあります。また、線状降水帯という言葉聞いたこともあると思います。大雨に関する正しい知識を得ることが大切です。

大雨の特徴

局地的大雨（ゲリラ豪雨）は、突発的に発達した積乱雲が雨を降らせることにより起こります。狭い範囲に強く降りますが、長くても1時間程度で収まるのが特徴です。
一方、線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）の群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞する強い降水をとまなう雨域をいいます。

大雨の際に注意すべきこと

前兆現象 積乱雲が近づくと空が暗くなり、冷たい風が吹きはじめ、次第に大粒の雨が降りだします。雷鳴が聞こえたり、ひょうが降ることもあります。

危険な場所

- ・河川： 集中豪雨により勢いを増し、水かさが増えてはん濫する危険もあります。バーベキューやキャンプ等のアクティビティの際は特に注意が必要です。
- ・アンダーパス※： 雨水が集中しやすい地形で、冠水の危険があります。
- ・地下： 地下道や地下室は冠水しやすく、水圧によってドアが開かなくなる危険性があります。

※立体的に交差する道路で、周辺の地面より低い位置にある道路のこと

避難時の服装や注意点

警報や自治体の指示に従って避難をするようにしましょう。

履き慣れた運動靴

長靴は水が入り込むと歩行の妨げになるため、靴底がしっかりしていて紐で締められるスニーカーが最適です。

傘

冠水している道路は、マンホールや側溝のふたが外れていることもあります。傘で危険な場所がないか探りながら進みましょう。

軍手



帽子やヘルメット

風で物が飛んできた際や転倒した際に頭を守ることができます。

リュック

避難に必要な荷物はリュック等で背負い、移動しましょう。

長袖、長ズボン

動きやすいものを着けましょう。

東京都からのお知らせ

東京都では一斉帰宅の抑制について、日ごろからイメージしてもらうためにガチャピンとムックがわかりやすく解説する動画を作成しました。本動画はどなたでも無料で、ご都合のよいタイミングで視聴できます。下記のリンクからアクセスしてください。

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1006183/index.html